



## 「近代の美を織る 解し模様銘仙展」

## ちちぶ銘仙館ギャラリー企画展

## 【strong point/ここが言いたい!】

大正2年、足利の根岸藤平・關川糸蔵により、仮織りした経糸に型紙を用いて模様を型染めする、現在も行われている「解し織」の技術特許が取得されました。

秩父地域では、坂本宗太郎・新船勝三郎・北堀覚三により、明治末期から昭和初期にかけて捺染技術が改良され、生産の効率化が測られます。

「解し織」の登場は、無地・縞・緋のみであった銘仙市場に、新たな「模様銘仙」という大衆商品を生み出しました。

整経により引き揃えた経糸に染色するという、従来にはない革新的な製造思想は、自由曲線の模様表現を可能とし、大正期に醸成されて大正末期から昭和初期にかけての模様銘仙の流行を現出させました。

今回の企画展では、「解し織」により近代的な美意識を体現した大正から昭和にかけての模様銘仙の姿に着目し、銘仙着物と関連資料を約60点展示します。

## ●会期

令和8年3月14日(土)～4月11日(土)

午前9時～午後4時

## ●会場

「ちちぶ銘仙館」ギャラリー (住所: 秩父市熊木町28-1)

## ●入館料

大人¥210 小中学生¥100

## 【next plan/今後の事業展開】

詳細は篠原隊員のInstagram等で発信しています。



@MEISEN\_BOY

篠原隊員Instagram



ちちぶ銘仙館ギャラリー企画展  
令和8年3月14日(土)から4月11日(土)まで

MEISEN EXHIBITION

産業観光部産業支援課

担当者: 篠原、橋本

☎: 0494-25-5208

FAX: 0494-25-0136



秩父市イメージキャラクター

ポテくん と ふめるちゃん

解し模様銘仙展



近代の美を織る

ちちぶ銘仙館ギャラリー企画展  
令和8年3月14日(土)から4月11日(土)まで

MEISEN EXHIBITION

# 「近代の美を織る 解し模様銘仙展」

ちちぶ銘仙館ギャラリー企画展

会期・令和8年3月14日～4月11日

場所・ちちぶ銘仙館 秩父市熊木町28-1

大正2年、足利の根岸藤平・關川桑蔵により、仮織りした経糸に型紙を用いて模様を型染めする。現在も行われている「解し織」の技術特許が取得されました。

秩父地域では、坂本宗太郎・新船勝三郎・北堀覚三により、明治末期から昭和初期にかけて捺染技術が改良され、生産の効率化が測られます。

「解し織」の登場は、無地・縞・緋のみであった銘仙市場に、新たな「模様銘仙」という大衆商品を生み出しました。

整形により引き揃えた経糸に染色するという、従来にはない革新的な製造思想は、自由曲線の模様表現を可能とし、大正期に醸成されて大正末期から昭和初期にかけての模様銘仙の流行を現出させました。

今回の企画展では、「解し織」により近代的な美意識を体現した大正から昭和にかけての模様銘仙の姿に着目し、銘仙着物と関連資料を約60点展示します。

秩父市役所産業観光部産業支援課

地域おこし協力隊・銘仙担当 篠原順一